

令和6年度 大田区立雪谷中学校 自己評価 成果指標

○ 本校の概要

#####

YAS Yukigaya Active School ～常に動き続け、「積極的・自発的」(active)に「より良い学校」を目指す～

【目指す生徒の姿】
1) 自己や他者の良いところに目を向けることができ、自己肯定感が高い生徒 2) コミュニケーション能力、表現力を持ち、他者と協働できる生徒 3) 学力・体力の向上を目指し、ねばり強く努力する生徒

【目指す学校教育の姿】
1) わかりやすく、生徒が主体的に学べる授業 2) 様々な個性を持つすべての生徒に対する温かく根気強い支援 3) 保護者の思いを理解した、良きパートナーとしての誠意ある連携

○ 自己評価及び学校関係者評価の結果の概要と改善策

大項目	方向性	取組内容	取組指標	取組評価	目標に対する成果指標		成果評価	これまでの取組 今後の改善策	学校関係者記入欄							
					評価	人数			コメント							
生予個 き測別 る困目 力難標 をな1 育成来 し社会 を創造 的に	社会の様々な課題を自分事として捉え、主体的に考え、他者と協働し、問題解決していく意欲や、予測困難な未来社会を切り拓いていくために重要な創造力や課題解決力、情報活用能力を育成します。	①STEAM教育等の教科等横断的な学びや科学教育を推進し、課題解決力や新たな価値を創造する力の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。		学校評価アンケート 生徒項目1 「学級活動、行事、委員会、部活動等で、友達と話し合ったり、協力しながら活動することができている」 生徒項目2 「映像や図で見せるなど、授業は工夫があつてわかりやすい」 の肯定的回答の％	4:180%以上280%以上			A							
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。													
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。													
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。													
		②学校内外での様々な体験活動や自己評価する習慣づくりを推進し、自ら考え判断する力や、他者と協働していく力の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。						3:170%以上270%以上	C						
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。													
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。													
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。													
		③情報技術を適切に活用した授業の実施を通して、情報活用能力の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。			2:160%以上260%以上			D							
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。													
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。													
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。													
		お世個 お界別 たと目 つつ標 担な2 うが る材国 を際育 都市し ます	英語での実践的なコミュニケーション能力を高めるとともに、我が国や郷土の伝統文化に触れ、尊重する心や、協力していく態度を育成します。また、国際社会・地域社会に関心をもち、持続可能な社会を形成していく態度を形成します。	①外国語教育指導員の活用などにより、英語に慣れ親しみながら会話をする機会を増やし、英語力やコミュニケーション能力の向上、豊かな国際感覚の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。				学校評価アンケート 生徒項目3 「英語の授業で、ペアワークなど英語でやり取りする活動に積極的に取り組んでいる」 生徒項目4 「環境問題など地球規模の問題を自分事としてとらえ、その解決に向けて自分なりに考え、行動している」 の肯定的回答の％	4:180%以上280%以上				A		
					3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。											
					2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。											
					1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。											
②我が国や郷土の伝統や文化の学習、人権教育を推進し、自分とは異なる文化や価値観をもつ相手を理解し、互いに尊重し合う心の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。					3:170%以上270%以上	B									
	3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。															
	2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。															
	1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。															
③現代社会における地球規模の課題を自分事として捉え、その解決に向けて考え、行動する力の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。					2:160%以上260%以上	C									
	3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。															
	2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。															
	1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。															
た一個 め人別 のひ目 基と標 礎り3 とが な個 る性 力と を能 力成 をを 発揮 する	児童・生徒が豊かな人生を生きていく上で基礎となる力として、豊かな心や確かな学力、健やかな体を育成します。また、乳幼児期から中学校までの一貫性のある教育を推進します。			①道徳科を中心とした各教科等での学習などを通じて継続的に道徳教育を実施し、豊かな情操や道徳心の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。		学校評価アンケート 生徒項目5 「友達を尊重し、学校の決まりや集団のマナーを、きちんと守って生活している」 生徒項目6 「前向きに学習に取り組むことができている」 の肯定的回答の％	4:180%以上280%以上								
					3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。											
					2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。											
					1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。											
		②学習習熟度に応じた指導や個に応じた学習支援、各種検定の実施を通して、すべてのこどもに確かな学力の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。			3:170%以上270%以上										
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。													
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。													
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。													
		③体育や保健体育の授業など様々な機会を通して、健康教育や食育を推進し、基本的な生活習慣の確立を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。			2:160%以上260%以上										
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。													
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。													
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。													
		④乳幼児期から中学校まで円滑な接続を行うため、保幼小の連携や小中一貫の視点に立った教育を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。			1:160%未満260%未満										
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。													
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。													
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。													

学 校 別 力 目 ・ 標 教 4 師 力 を 向 上 さ せ ま す	校内研究等のOJTの充実を通して、教師の授業力を向上させます。また、質の高い教育を実現するため、学校の組織的な運営力を向上します。あわせて、教師がやりがいをもって働くことができる魅力的な環境づくりを進めます。	①児童・生徒一人ひとりの可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実の視点による授業改善を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。		生徒項目8 「授業では、話し合い活動や発表する活動で、友達の意見を聞いたり、自分の考えを伝えたりすることができている」	4: 180%以上 280%以上			A				
			3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。			3: 170%以上 270%以上							
			2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。										
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。										
		②教職員がそれぞれの専門性を生かしたり、地域の特色を生かしたりして教育活動を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。		生徒項目9 「授業では、自分で課題を設定するなど、自分の考えを生かせる活動がある」	2: 160%以上 260%以上			B				
			3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。										
			2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。										
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。										
		③教職員の業務適正化等に取り組み、児童・生徒に教員が向き合う時間を確保する等、ウェルビーイングを高める取組を行っている。	4:「おおむね高まっている」と全教員が回答した。		の肯定的回答の%	1: 160%未満 260%未満			C				
			3: 80%以上100%未満が「おおむね高まっている」と回答した。										
			2: 60%以上80%未満が「おおむね高まっている」と回答した。										
			1:「おおむね高まっている」と回答した教員が60%未満であった。										

た 自 個 め 分 別 の ら 目 学 し 標 び く 5 を い き 支 援 し き と 生 き る	困難のある児童・生徒一人ひとりの状況にあわせて教育環境を整えるとともに、相談機能の充実を図ることで、すべての児童・生徒が自分らしくいきいきと生きるための学びを支援します。	①インクルーシブ教育システムの構築に向けて、教員の資質・能力の向上や校内における支援体制の充実、特別支援教室巡回指導教員との連携等を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。		学校評価アンケート 生徒項目10 「いじめを許さない気持ちを持ち、友達とはお互いを尊重して、仲良く生活することができている」	4: 180%以上 280%以上			A				
			3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。			3: 170%以上 270%以上							
			2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。										
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。										
		②学校いじめ防止基本方針に沿って、いじめの未然防止、早期発見、早期対応等のための組織的な対応を実施している。	4:「組織的な対応ができた」と全教員が回答した。		生徒項目11 「困ったことがあるときは、先生に悩みを話したり、相談できる」	2: 160%以上 260%以上			B				
			3: 80%以上100%未満の教員が回答した。										
			2: 60%以上80%未満の教員が回答した。										
			1:「組織的な対応ができた」と回答した教員が60%未満であった。										
		③スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーとの連携等、児童・生徒・保護者が相談しやすい環境を整備し、一人ひとりの能力や可能性を最大限に伸ばすことを意図した指導や支援を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。		の肯定的回答の%	1: 160%未満 260%未満			C				
			3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。										
			2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。										
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。										

安 柔 個 心 軟 別 な で 目 教 創 標 育 造 6 環 的 境 な を 学 つ 習 く 空 り 間 ま と す 安 全 ・	学校施設について、ICT環境等の教育環境の整備を推進するとともに、児童・生徒の安全・安心を向上させるための教育を推進します。	①学校や地域の伝統・特色や、安心・安全な学校生活づくりを踏まえて、学習環境を整備している。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。		学校評価アンケート 生徒項目12 「生徒の自主的な活動が活発、行事に前向きに取り組むなど、雪谷中には良い伝統があると思う」	4: 180%以上 280%以上			A				
			3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。			3: 170%以上 270%以上							
			2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。										
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。										
		②避難訓練や安全指導日などを通して、危険や災害に対する教育を関係機関と連携しながら進めている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。		生徒項目13 「学習の中でPC・タブレットなどを使うことは自分の勉強の役に立っている」	2: 160%以上 260%以上			B				
			3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。										
			2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。										
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。										
			4:「おおむねできた」と全教員が回答した。		の肯定的回答の%	1: 160%未満 260%未満			C				
			3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。										
			2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。										
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。										

学 地 学 校 域 校 別 を コ ・ 目 つ ミ 家 標 く ユ 庭 7 リ ニ ・ ま テ 地 域 の 核 連 と 携 し て 協 働 に よ る	地域コミュニティの核としての学校づくりや地域の特色を生かした学校づくりを進めるとともに、学校・家庭・地域が連携・協働して、地域社会全体でこどもたちを育成します。	①「地域コミュニティの核としての学校づくり」を目指して地域と学校が連携・協働した様々な活動を実施している。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。		学校評価アンケート 生徒項目14 「ボランティア活動やコミュニティ・スクール行事、地域行事など、地域や社会と連携する活動に参加してみたいと思う」	4: 180%以上 280%以上			A					
			3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。			3: 170%以上 270%以上								
			2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。											
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。											
		②登下校の見守り活動等の、児童・生徒の健全育成や安全指導に係る取組を地域の協力により実施している。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。			2: 160%以上 260%以上			B					
			3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。											
			2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。											
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。											
		③家庭教育に関する情報の発信やPTAなどと連携した講演会・学習会、またはその双方を実施している。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。			2: 160%以上 260%以上			C					
			3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。											
			2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。											
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。											
		【独自項目】 ④学校の情報を、保護者・地域に発信し、学校教育への理解を深めている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。			1: 160%未満 260%未満			D					
			3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。											
			2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。											
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。											

○記入にあたっては、各学校で取り組んでいる自己評価項目に照らし、該当する項目を取りまとめて行う。
○学校関係者評価の「評価」は、A: 自己評価は適切である B: 自己評価はおおむね適切である C: 自己評価は適切ではない D: 評価は不可能である の4点について、評価した人数